シラバス

学科	学年	科目[単位数]	
全学科	1学年	国語総合(4)	

科目目標など
・国語に関する基礎知識を身につけ、我が国の伝統・文化に対する関心を高める。
・文章読解を通して、すべての学習の基本となる読解力や論理的思考力などを養う。
・言語に関する基礎事項に習熟し、話す・聞く・書くなどの表現への意欲を高める。

学期	単元名および教材(予定時間)	単元の目標および主な学習内容
一学期	【オリエンテーション】 授業、図書室(2)	・国語学習の目的・内容・方法を理解する。副教材の使用法を理解する。 ・図書室の使い方を理解する。
	【随想一】 隣の校庭(4)	・筆者の日常の体験から生まれたものの見方や考え方を理解する。
	【話す聞く】スピーチ 「自己紹介」(2)	・メモを作成し、クラス全員の前で、自己紹介をする。
	【古文一】 児のそら寝(3)	・古文と現代文の違いを知り、古文を読む基礎を学ぶ。 ・説話のおもしろさを通して、古文の世界に親しむ。
	【古文一】 古文のしるべ①(1)	・「現代仮名遣い」と「歴史的仮名遣い」の違いを知る。 ・古語と現代語の、意味や用法の違いを知る。
	【漢文一】 訓点(2) 格言(2)	・漢文の特色を知り、漢文の読み方の基礎を学ぶ。 ・「格言」を読んで、漢文の世界に親しむ。
	【漢文一】 守株(1) 五十歩百歩(2) 蛇足(2)	・漢文の特色を知り、漢文の読み方の基礎を学ぶ。 ・音読を積極的に行っている。 ・「故事」を読んで、漢文の世界に親しむ。
	【古文一】 季武が従者、 主の矢先をはづすこと(5)	・古文と現代文の違いを知り、古文を読む基礎を学ぶ。 ・説話のおもしろさを通して、古文の世界に親しむ。
	【小説一】 とんかつ(6)	・小説の文章に親しみ、話の展開を通して、そのおもしろさを読み取る。 ・情景や人物の心情を、表現に即して読み味わう。
	【短歌・俳句】 その子二十(4) 夏嵐(3)	・短歌・俳句に親しみ、その表現の特色を知る。 ・優れた短歌・俳句を詠み味わい、鑑賞力を養う。
二学期	【話す聞く】スピーチ 「夏休みの思い出」(2)	・メモを作成し、聞き手に伝わるように発表する。 ・正しく聞き取り、相互評価をする。
	【詩】 夏の姿(1) 二十億光年の孤独(2) 冬が来た(1)	・詩に親しみ、その表現の特色や詩の言葉の微妙なはたらきを知る。 ・人生を主題とする詩を味わい、読み比べて、読みを深め、鑑賞力を養う。
	【小説一】 海の方の子(6)	・少し長めの小説の場面展開と登場人物の心理変化を的確に理解する。 ・会話における登場人物の心理変化を理解する。
	【古文二】『徒然草』 つれづれなるままに(1)	・古文の表現に慣れ、内容を理解する力を養う。 ・兼好のものの見方や感じ方に関心を持つ。
	【小説二】 羅生門(6)	・主題をとらえ、人間の心理について考えを深める。 ・虚構の仕組みを考え、効果的な表現を味わう。
	【表現】言葉とその周辺(1)	・慣用表現やことわざの正確な意味を調べ、理解する。
	【評論一】 おカネでは買えぬもの(5)	・文章を、その論理や構成に留意して、読む力を養う。 ・全体の構成を把握し、筆者の主張を考える。
三学期	【小説三】 沖縄の手記から(8)	・場面ごとの登場人物の心情を読み取る。
	【古文二】『徒然草』 高名の木登り(3) 奥山に、猫またといふものありて(3)	・古文の表現に慣れ、内容を理解する力を養う。 ・兼好のものの見方や感じ方に関心を持つ。
	【古文三】 折々のうた(4)	・人々に親しまれてきた詩歌を読み味わい、鑑賞する力を養う。 ・詩歌に表れた日本人のものの見方、感じ方の伝統を知る。

成績評価	各考査・課題テストの点数、課題・ノートなどの提出状況、授業中の取り組みや出欠の状況を踏まえ、総合的に評価する。
使用教材・副教材	・ 教科書「新編国語総合」(東京書籍) ・「新編国語総合学習課題ノート」(東京書籍) ・「常用漢字オールクリア」(尚文出版)・「クリアカラー国語便覧」(数研出版)
備 考	

シラバス

学科	学年	科目［単位数］	
全学科	２年	世界史Ａ［２単位］	

目標など
・混迷する世界情勢の中で世界の歴史的背景を正しく認識し、現代の社会の動きに対して適切な判断をできる有権者としての能力を高める

	単元名	学 習 内 容
1	オリエンテーション	・授業への取り組み方 ・世界史を通して学ぶこと
	第１部　序章 人類のはじまり	人類の登場と、農耕牧畜による食料生産を基礎として文明を築き歴史時代が形成されていく過程を理解する。
	第1部　１章 東アジア世界	東アジアの風土と諸民族、封建制度、漢字文化圏、儒教思想、律令体制、文治主義、国際関係（冊封体制）などを通して、日本を含む東アジア世界の特質を理解する。
	第１部　２章 南アジア世界	南アジアの風土と諸民族、カースト制、仏教の成立、ヒンドゥー教、イスラームの影響などを通して、南アジア世界の特質を理解する。
	第１部　３章 東南アジア世界	自然環境や地理的位置に着目し、南アジア文明と中華文明のはざまで強く影響を受けながら、それぞれの地域で多様な社会・文化を築いていった東南アジア世界の特質を理解する。
	第１部　４章 イスラーム世界	中東の風土と諸民族、オリエント文明・イラン文明の伝統にふれ、基層となる中東世界の特徴を把握し、イスラームの成立と拡大・分裂などを通して、イスラーム世界の特質を理解する。
	第１部　５章 ヨーロッパ世界	ヨーロッパの風土と諸民族、ギリシア・ローマ文明の伝統、キリスト教の発展、封建社会などを通して、ヨーロッパ世界の特質を理解する。
	第１部　６章 南北アメリカ	南北アメリカの風土と先住民にふれ、ヨーロッパが進出する以前の新大陸において独自の文化が築かれていたことを理解する。
	第１部　７章 ユーラシアの交流圏	８世紀以降の諸地域世界の交流の深まりにふれ、ユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた都市や港のネットワークについて、ユーラシアを舞台に展開された海域世界、遊牧社会、地中海海域、東アジア海域を具体例として理解する。
	第２部　１章 繁栄するアジア	アジアのティムール、オスマン、ムガル、明、清などの諸帝国の政治と社会にふれ、この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に、諸帝国が文化の黄金時代を迎えたことを理解する。
	第２部　２章 大航海時代を迎えるヨーロッパ	ルネサンスと宗教改革、新航路の開拓、主権国家体制の成立などにふれ､16世紀からの世界の一体化への動きと新たなヨーロッパの枠組みとなった主権国家体制について理解する。
2	第２部　３章 ヨーロッパとアメリカの諸革命	産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会及び国民国家の形成が進行したことを理解する。
	第２部　４章 自由主義・国民主義の進展	19世紀後半のヨーロッパ、アメリカ社会を通して、自由主義と国民主義が進展していく様子とアメリカ文明の内容について理解する。
	第２部　５章 アジア諸国の動揺	オスマン帝国の弱体化やムガル帝国の崩壊などを通して、世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況、植民地化と従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容など、アジア諸国の同様の様子を理解する。
	第２部　６章 東アジアの大変動	アヘン戦争やアロー戦争などの西洋の衝撃により、冊封=朝貢体制を中心とする伝統的な国際秩序が崩壊していく過程を通して、ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東味か諸国の状況、半植民地化や従属下の過程での抵抗と挫折、その中での日本の対応など、東アジアの大変動の様子を理解する。
	第３部　１章 現代世界のめばえ	様々な社会の変容と国民国家の形成を経て始まる20世紀という時代の特質を理解し、ヨーロッパ諸国による他地域の植民地化をめぐる競合と人口移動から世界の支配、従属関係を伴う社会の変容を理解する。
	第３部　２章 第１次世界大戦がもたらしたもの	第１次世界大戦と総力戦としての様相、戦争と革命による国際秩序の変化、アメリカ大衆生活とその波及を通して､20世紀初頭の変化の様相を理解する。
3	第３部　３章 “民族自決”を求めて	インド・中東及び東アジアの民族運動を通して、“民族自決”を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。
	第３部　４章 経済危機から第２次世界大戦へ	第２次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し平和の意義などについて考察する。また前章と合わせて20世紀前半の国際政治の流れを概観し、国際関係の変遷と社会の特質を理解する。
	第３部　５章 冷たい戦争と国際社会の変化	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察する。
	第３部　６章 地域社会の到来	1970年代移行の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現を理解し、日本が世界の諸国、諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向などについて考察する。
	21世紀の課題を考えよう	冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因や歴史的背景を追究し、国際社会の変化や国民国家の課題などについて考察する。また、現代の科学技術の人類への寄与と課題を追究し、人類の生存と環境、世界の平和と安全などについて考察するとともに、国際的な交流と強調の必要性を認識する。自ら課題を見つけ、自ら調べて、レポートにまとめて報告したり発表したりする。
成績評価		・出席状況、授業態度、提出物、定期考査
使用教材・副教材		・明解世界史Ａ　最新版　（帝国書院） ・最新世界史図説　タペストリー　六訂版　（帝国書院）
備　　考		

シラバス

学科	学年	科目[単位数]	
全学科	１学年	地理Ａ[２]	

目標など
　現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
・身近な情報を地理情報として活用することに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
・身の回りにある様々な情報を、地理情報化する技能を身につける。
・世界各地の情報から、それぞれの地域の地理的環境、歴史的環境を通して多面的・多角的に考察する。

	項目	学習内容
1	第１部 つながりを深める世界の理解のために ・第１章 　球面上の世界のとらえ方 ・第２章 　結びつきを強める現代社会 ・選択Ａ 　多様さを増す人間行動と現代世界	・１章　球面上の世界のとらえ方 ・２章　結びつきを強める現代社会 ・選択Ａ　多様さを増す人間行動と現代社会
2	第２部 　世界の多様性の理解のために ・第１章 　生活に影響を及ぼす気候 ・第２章 　生活に影響を及ぼす地形 ・第３章 　多様な生活をもたらす社会環境 ・第4章 　多様な諸地域の生活・文化	・１章　生活に影響を及ぼす気候 ・２章　生活に影響を及ぼす地形 ・３章　多様な生活をもたらす社会環境 ・４章　多様な諸地域の生活・文化
3	第３部 　地球的な課題の解決のために ・第１章 　地球的な課題の解決のために	・１章　地球的規模で広がる課題
成績評価		出席状況、授業態度、提出物、定期考査、小テスト
使用教材・副教材		教科書　世界を学ぶ　高校生の地理A　帝国書院 地図　新詳高等地図　帝国書院 副教材　図説地理資料　世界の諸地域NOW2008　帝国書院
備　考		

シラバス

学科	学年	科目[単位数]	
全学科	3学年	現代社会[２]	

目標など
・現代社会の基本的な問題について、様々な情報を利用し公正な判断をできるようにする。

・良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

学期	項目	学　習　内　容
1	第２部 現代の社会と人間 第１章 現代の社会生活と青年	１現代社会の特質とわたしたちの生活 ①大衆の時代 ②情報化の進展と生活 ③国際化のなかの人間 ２現代社会と青年の生き方 ①青年であること ②社会とのつながり ③生きがいと進路の創造 ３よりよく生きることを求めて ①よりよく生きるということ ②近代科学の考え方 ③人間の尊厳 ④日本人のものの考え方 ⑤外来文化の受容と日本の伝統思想
	第２章 現代の経済と国民福祉	１①経済のしくみ ①技術革新と産業社会の変化 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④国民経済の活動水準 ２政府の経済的役割 ①市場と政府 ②財政と財政制度 ③金融の役割 ３変化する日本経済 ①高度経済成長と産業構造の転換 ②経済のバブル化とその崩壊 ③日本の財政問題 ④金融の自由化と国際化 ⑤中小企業と農業 ４豊かな生活の実現 ①自立した消費者への道 ②労働者の権利 ③現代の雇用・労働問題 ④社会保障の役割 ⑤公害の防止と環境保全
2	第３章 日本国憲法と民主政治	１民主政治とは ①民主政治の原理 ②民主政治のしくみ ③世界の主な政治体制 ２日本国憲法と基本的人権 ①日本国憲法と三つの原理 ②基本的人権の保障 ③基本的人権の保障 ④新しい人権と国際的広がり ３国会・内閣・裁判所 ①国会と政党 ②内閣と行政 ③裁判所と法の支配 ４政治参加と民主主義 ①選挙と政党政治 ②世論と政治参加 ③地方自治と地域社会 ④平和主義と安全保障 ⑤民主社会の倫理と課題
2 3	第４章 国際社会と人類の課題	１国境を越える経済 ①企業活動のグローバル化 ②国際経済のしくみ ③戦後国際経済の枠組みとその変化 ④先進国間の対立と協調の時代 ⑤グローバル化する国際経済 ２ボーダーレス化のなかの地域 ①地域経済統合の進展 ②変容するロシアとアジアの経済 ③多様化する南の世界 ３国際社会の成立と戦後の動き ①国際社会の成り立ち ②国際紛争をさけるしくみ ③国際連合の現状と課題 ④東西対立とその後の世界 ４国際社会の課題 ①核兵器と軍縮 ②環境・人口・食糧問題 ③民族問題と紛争 ④国際社会と人権 ⑤地球人として－日本の役割－
成績評価		出席状況、授業態度、提出物、定期考査
使用教材・副教材		教科書　　現代社会　（東京書籍） 副教材　　最新　ダイナミックワイド　現代社会　（東京書籍）
備　　考		

シラバス

学科 機械科・電子機械科・電気情報科	学年 １年	科目[単位数] 数学Ⅰ［３単位］	

目標など

方程式と不等式，二次関数及び図形と計量について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

学期	項　　目	学習内容
1	第１章　数と式 第１節　整式	 1　整式 2　整式の加法・減法 3　整式の乗法 4　乗法公式 5　因数分解
	第２節　実数	1　数の分類 2　根号を含む式の計算
	第２章　方程式と不等式 第１節　１次不等式	 1　不等式とその性質 2　不等式の解き方 3　不等式の応用
2	第２節　２次方程式	1　２次方程式とその解き方 2　２次方程式の解の公式 3　２次方程式の応用
	第３章　２次関数 第１節　２次関数とそのグラフ	 1　関数 2　２次関数とそのグラフ
	第２節　２次関数の値の変化	1　２次関数の最大値・最小値 2　２次関数のグラフと２次方程式 3　２次関数のグラフと２次不等式
3	第４章　図形と計量 第１節　鋭角の三角比	 1　タンジェント 2　サインとコサイン 3　三角比の応用 4　三角比の相互関係
	第２節　三角比の拡張	1　三角比と座標 2　三角比の相互関係
	第３節　図形の計量	1　三角形の面積 2　正弦定理 3　余弦定理 4　空間図形と三角比 5　図形の計量

成績評価	・日々の学習活動の観察、課題・ノート等の提出物、小テスト（百マス計算含む）、定期考査、および生徒本人による自己評価、出席状況等を通して総合的に評価する。
使用教材・副教材	・新数学Ⅰ（東京書籍） ・改訂版　ニューファースト新数学Ⅰ（東京書籍）
備　　考	

シラバス

学科　機械、電子機械、電気情報	学年 １学年	科目 理科総合Ａ（２単位）	

目標など
　自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して、エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解させるとともに、人間と自然との関わりについて考察させ、自然に関する総合的な見方や考え方を養う。

学期	項目	学習内容
1	序部　自然の探求 １部　物質と人間生活 　１章　物質の構造	自然の見方 探求の仕方 １節　物質の構成 　混合物と純物質 　元素 　単体と化合物 ２節　原子の構造と周期表 　原子とその構造 　電子中の電子配置 　元素の性質と周期表 ３節　物質の構成粒子 　イオン 　イオン式とイオン結合 　分子と共有結合 　金属と金属結合 ４節　物質の量 　原子量 　分子量と式量 　物質を構成する粒子の個数
2	２章　物質の変化 3章　物質の利用	１節　燃焼とエネルギー 　燃焼と化学変化 　化学変化とエネルギー 2節　状態変化とエネルギー 　物質の3態と状態変化 　状態変化とエネルギー 3節　酸・塩基の中和反応とエネルギー 　酸と塩基 　ｐＨ 　中和反応 ３節　酸化還元反応とエネルギー 　酸化還元反応 　金属のイオン化傾向 　電池と電気分解 １節　日常生活と物質 　金属製品 　プラスチック製品 　セラミックス製品 ２節　生物のつくる物質 　食物 　酵素 　衣料、染料と住居 　微生物の利用 　環境と生物
3	２部　エネルギー資源と人間生活 　１章　力学的エネルギー ３部　科学技術の進歩と人間生活	１節　運動と力 　速さと速度 　自由落下 　力 　力の合成と力のつりあい 　作用・反作用の法則 　慣性の法則 2節　仕事とエネルギー 　仕事 　仕事の原理 　運動エネルギー 　位置エネルギー 　力学的エネルギー保存の法則 　力学的エネルギーが保存されない場合 1節　熱エネルギー 2節　電気エネルギー １節　科学技術の進歩と課題

成績評価	定期考査、授業への取り組み、提出物、小テスト、実験レポートなどをもとに総合的に判断する。
使用教材・副教材	理科総合A改訂版（啓林館）、フォトサイエンス理科総合Ａ（数研出版）、ワークプリント
備考	

シラバス

学科 機械、電子機械、電気情報	学年 ２学年	科目 物理Ⅰ（3単位）	

目標など

物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、物理学的に探求する能力と態度を育てると共に基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

学期	項目	学習内容
1	第Ⅰ章　力と運動	第１節　物体の運動 ①日常に起こる物体の運動 ②速さ ③等速運動と速度 ④速度の合成・相対速度 ⑤加速度 ⑥等加速度運動
		⑦重力加速度と自由落下 ⑧初速度のある運動 第２節　力と運動の法則 ①力と質量 ②いろいろな力 ③力の合成・分解 ④大きさのある物体にはたらく力のつりあい ⑤運動の第１法則 ⑥力と質量と加速度の関係 ⑦運動の第２法則 ⑧運動の第３法則 ⑨摩擦力 ⑩運動方程式の利用
2	第Ⅱ章　エネルギー	第１節　仕事と力学的エネルギー ①仕事とエネルギー ②仕事と仕事率 ③運動エネルギー ④位置エネルギー ⑤力学的エネルギー保存則 ⑥いろいろな運動と力学的エネルギー
		第２節　熱とエネルギー ①温度 ②熱と熱平衡 ③熱と仕事 第３節　電気とエネルギー ①電荷と電流 ②電気抵抗 ③直流回路 ④電流と仕事 ⑤エネルギーの変換
3	第Ⅲ章　波動	第１節　波の性質 ①身の回りの波 ②波の表し方 ③波の重ね合わせ ④定常波と波の反射 ⑤波の伝わり方 ⑥波の反射・屈折 第２節　音波 ①音の速さと３要素 ②波としての音の性質 ③弦の固有振動 ④気柱の共鳴 ⑤ドップラー効果 第３節　光波 ①光の進み方 ②レンズ ③波としての光 ④光の回折・干渉

成績評価	授業への取り組む態度、定期考査、実験レポート、プリントの提出、小テストなどをもとに総合的に判断する。
使用教材・副教材	高等学校改定新物理Ⅰ（第一学習社）、授業用に作成したプリント
備考	

富山県立大沢野工業高等学校　　学 習 計 画（シラバス）

学科　機械科　電子機械科 電気情報科	学年 １学年	科目［単位数］ 体　育［3］	

目標
ａ　健康や体力について知るとともに、各種の運動実践を通して体力の向上と健康の増進をはかります。
ｂ　運動技能の向上とともに、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。
ｃ　集団による運動実践を通して公正・協力・責任などの社会生活に必要な資質を身につけます。
ｄ　健康の大切さを認識するとともに、生涯を通じて運動・スポーツに親しむ態度や能力を身につけます。

学期	学　習　内　容	学習のねらい
1	体力つくり運動 （学期を通して） 集団行動 新体力テスト 陸上競技 （短距離走） 球技 （サッカー、バレーボールを中心に）	A　体力つくり運動（体ほぐしの運動、体力を高める運動） 手軽な運動や律動的な運動を行うことにより、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、また、自分や仲間の体の状態に気づいたり、体の調子を整えたりするとともに、生活のなかで計画的に体力つくりを実践していくことができる資質や能力を身につけます。 C　陸上競技（短、長距離走） 各種目の基本的な動作や基本的な技術を高めるための練習に取り組み、競技したり記録を高めたりすることができるようにします。 記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことが大切です。 E　球　技（人数等により種目を実施） バスケットボール、サッカー、バレーボール、卓球、バドミントン
2	体力つくり運動 （学期を通して） 陸上競技 （短、長距離走） 選択制 （１学期と同様）	バスケットボールでは、相手との攻防の中でボールを運び、ゴールにシュートして得点するための基礎、基本技術を理解し、簡易ルールによってゲームをする中で連携プレーや個人の特性に応じて作戦を立てて、ゲームをすることができるようにします。 サッカーでは、チームゲームを通して、集団技能や個人技能を発揮し、作戦や戦術を考え、組織力を活かしてゲームを展開することができるようにします。 バレーボールでは、基本技術のパスやトス練習を行うとともに、サーブ・レシーブ・スパイクの学習を通してバレーボールの技術を理解し、自分たちでゲームを運営できるようにします。 テニス、卓球、バドミントンでは、チームの課題や自分の能力に適した課題を持って練習を行い、その技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにします。 F　武道（剣道、柔道） 柔道や剣道では相手の動きに対応した攻防ができるようにすることをねらいとしています。また、礼儀作法を尊重し、武道に対する伝統的な考え方を理解し、それにもとづく行動のしかたを身につけることが大切です。 G　ダンス ダンスは全身で表現することにより、自他のよさを認め合い理解することができる運動です。自己の能力に応じた課題を選び、自ら考え工夫するとともに、だれとでも協力して課題を解決することができるようにします。
3	体力つくり運動 （学期を通して） 球技 （バスケットボールを中心に）	

成績評価	・出席状況及び生徒個々の単元に対する「関心・意欲・態度」や「思考・判断」および「運動の技能」や「知識・理解」の４つの観点で総合的に評価します。

富山県立大沢野工業高等学校　　学 習 計 画（シラバス）

学科　機械科　電子機械科 電気情報科	学年 ２学年	科目［単位数］ 体　育［2］	

目標
ａ　健康や体力について知るとともに、各種の運動実践を通して体力の向上と健康の増進をはかります。
ｂ　運動技能の向上とともに、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。
ｃ　集団による運動実践を通して公正・協力・責任などの社会生活に必要な資質を身につけます。
ｄ　健康の大切さを認識するとともに、生涯を通じて運動・スポーツに親しむ態度や能力を身につけます。

学期	学　習　内　容	学習のねらい
1	体力つくり運動 （学期を通して） 集団行動 新体力テスト 陸上競技 （跳躍種目） 球技 （サッカー、バレーボールを中心に）	A　体力つくり運動（体ほぐしの運動、体力を高める運動） 手軽な運動や律動的な運動を行うことにより、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、また、自分や仲間の体の状態に気づいたり、体の調子を整えたりするとともに、生活のなかで計画的に体力つくりを実践していくことができる資質や能力を身につけます。 C　陸上競技（短、長距離走） 各種目の基本的な動作や基本的な技術を高めるための練習に取り組み、競技したり記録を高めたりすることができるようにします。 記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことが大切です。 E　球　技（人数等により種目を実施） バスケットボール、サッカー、バレーボール、テニス、卓球、バドミントン
2	体力つくり運動 （学期を通して） 陸上競技 （長距離走） 球技 （ソフトボール、バスケットボールを中心に）	バスケットボールでは、相手との攻防の中でボールを運び、ゴールにシュートして得点するための基礎、基本技術を理解し、簡易ルールによってゲームをする中で連携プレーや個人の特性に応じて作戦を立てて、ゲームをすることができるようにします。 サッカーでは、チームゲームを通して、集団技能や個人技能を発揮し、作戦や戦術を考え、組織力を活かしてゲームを展開することができるようにします。 バレーボールでは、基本技術のパスやトス練習を行うとともに、サーブ・レシーブ・スパイクの学習を通してバレーボールの技術を理解し、自分たちでゲームを運営できるようにします。 テニス、卓球、バドミントンでは、チームの課題や自分の能力に適した課題を持って練習を行い、その技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにします。 F　武道（剣道、柔道） 柔道や剣道では相手の動きに対応した攻防ができるようにすることをねらいとしています。また、礼儀作法を尊重し、武道に対する伝統的な考え方を理解し、それにもとづく行動のしかたを身につけることが大切です。 G　ダンス ダンスは全身で表現することにより、自他のよさを認め合い理解することができる運動です。自己の能力に応じた課題を選び、自ら考え工夫するとともに、だれとでも協力して課題を解決することができるようにします。
3	体力つくり運動 （学期を通して） 球技 （バスケットボールを中心に）	

成績評価	・出席状況及び生徒個々の単元に対する「関心・意欲・態度」や「思考・判断」および「運動の技能」や「知識・理解」の４つの観点で総合的に評価します。

富山県立大沢野工業高等学校　　学 習 計 画（シラバス）

学科　機械科　電子機械科 電気情報科	学年 ３学年	科目［単位数］ 体　育［２］	

目標
ａ　健康や体力について知るとともに、各種の運動実践を通して体力の向上と健康の増進をはかります。
ｂ　運動技能の向上とともに、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。
ｃ　集団による運動実践を通して公正・協力・責任などの社会生活に必要な資質を身につけます。
ｄ　健康の大切さを認識するとともに、生涯を通じて運動・スポーツに親しむ態度や能力を身につけます。

学期	学　習　内　容	学習のねらい
1 2 3	体力つくり運動 （学期を通して） 集団行動 陸上競技 （跳躍種目） 選択制（バスケットボール、サッカー、バレーボール、卓球、バドミントン等から１種目選択）	A　体力つくり運動（体ほぐしの運動、体力を高める運動） 手軽な運動や律動的な運動を行うことにより、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、また、自分や仲間の体の状態に気づいたり、体の調子を整えたりするとともに、生活のなかで計画的に体力つくりを実践していくことができる資質や能力を身につけます。 C　陸上競技（短、長距離走） 各種目の基本的な動作や基本的な技術を高めるための練習に取り組み、競技したり記録を高めたりすることができるようにします。 記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことが大切です。 種目選択制 バスケットボール、サッカー、バレーボール、卓球、バドミントン、ビーチボール 選択制授業では、特に主体的に運動に親しむことができる資質や能力を養うことが大切です。また、自己の能力に応じた課題やチームとしての課題の解決を目指して、計画的に練習したり競技の仕方やルールを工夫したりして自ら学び、自ら考える力を養います。 バスケットボールでは、相手との攻防の中でボールを運び、得点するための基礎、基本技術を理解し、簡易ルールによってゲームをする中で連携プレーや個人の特性に応じて作戦を立てて、ゲームをすることができるようにします。 サッカーでは、チームゲームを通して、集団技能や個人技能を発揮し、作戦や戦術を考え、組織力を活かしてゲームを展開することができるようにします。 バレーボール、ビーチボールでは、基本技術のパスやトス練習を行うとともに、サーブ・レシーブ・スパイクの学習を通してバレーボールの技術を理解し、自分たちでゲームを運営できるようにします。 卓球、バドミントンでは、チームの課題や自分の能力に適した課題を持って練習を行い、その技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにします。 F　武道 柔道や剣道では相手の動きに対応した攻防ができるようにすることをねらいとしています。また、礼儀作法を尊重し、武道に対する伝統的な考え方を理解し、それにもとづく行動のしかたを身につけることが大切です。 G　ダンス ダンスは全身で表現することにより、自他のよさを認め合い理解することができる運動です。自己の能力に応じた課題を選び、自ら考え工夫するとともに、だれとでも協力して課題を解決することができるようにします。

成績評価	・出席状況及び生徒個々の単元に対する「関心・意欲・態度」や「思考・判断」および「運動の技能」や「知識・理解」の４つの観点で総合的に評価します。

富山県立大沢野工業高等学校　　学 習 計 画（シラバス）

学科	機械科　電子機械科 電気情報科	学年 １学年	科目［単位数］ 保健［1］	

目標
ａ　個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めます。
ｂ　生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していくための資質や能力を育てます。

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1	「現代社会と健康」 1私たちの健康のすがた 2健康のとらえ方 3さまざまな保健活動 4生活習慣病と日常の生活行動	ア　健康の考え方 ・健康の考え方や保持増進の方法の変化の仕方、適切な意思決定や行動選択の重要性及びわが国や世界の保健活動や対策の実践などについて理解できるようにします。
1	5喫煙と健康 6飲酒と健康 7薬物乱用と健康 8医薬品と健康	イ　健康の保持増進と疾病の予防 ・調和のとれた生活の実践、喫煙、飲酒、薬物乱用に関する適切な意思決定や行動選択と心身への影響、感染症の予防などについて理解できるようにします。
2	9感染症とその予防 10エイズとその予防	
2	11健康にかかわる意志決定・行動選択 12意志決定・行動選択に必要なもの 13欲求と適応機制 14心身の相関とストレス 15ストレスへの対処 16自己実現	ウ　精神の健康 ・人間の欲求と適応機制には様々な種類があることおよび精神身体には密接な関連があること。また、精神の健康の保持増進するためには。欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であることについて理解できるようにします。
3	17交通事故の現状と要因 18交通社会における運転者の資質と責任 19安全な交通社会づくり 20応急手当の意義とその基本 21心肺蘇生法 22日常的な応急手当	エ　交通安全と応急手当 ・交通事故を防止するためには、車両の特性を理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度よび交通環境の整備などが重要であり、また、交通事故には責任や補償問題が生じることういて理解できるようにします。 ・けが人や急病者を発見した際の一連の手順や応急手当の効果を言えるだけではなく、積極的な対処が人命救助につながることを理解できるようにします。

成績評価	・出席状況や授業の取り組み状況（生徒個々の保健学習に対する関心・意欲・態度や知識・理解など)の他、課題やノートの整理、定期考査などで総合的に評価します。
使用教材 副教材	教科書　　現代保健体育改訂版　　（大修館書店） 副教科書　現代保健ノート改訂版　（大修館書店）
備考	

富山県立大沢野工業高等学校　　学 習 計 画（シラバス）

学科	機械科　電子機械科 電気情報科	学年 ２学年	科目［単位数］ 保健［１］	

目標
ａ　個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めます。
ｂ　生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していくための資質や能力を育てます。

学期	学習内容	学習のねらい
1	「生涯を通じる健康」 1思春期と健康 2性意識と性行動の選択 3結婚生活と健康 4妊娠・出産と健康 5家族計画と人工妊娠中絶	ア　生涯の各段階における健康 ・生涯にわたって健康を保持増進するためには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理を行う必要があることを理解できるようにします。
1 2	6加齢と健康 7高齢者のための社会的とりくみ 8保健制度と保健サービスの活用 9医療制度と医療費 10医療機関と医療サービスの活用	イ　保健・医療制度及び地域の保険・医療機関 ・生涯にわたって健康を保持増進するためには、わが国の健康保険・医療制度や機関について知り、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることを理解できるようにします。
2	「社会生活と健康」 1大気汚染と健康 2水質汚染と健康 3土壌汚染と健康 4健康被害の防止と環境対策	ア　環境と健康 ・人間の生活や産業活動による自然環境の汚染と健康への影響およびその対策について理解できるようにします。
2 3	5環境衛生活動のしくみと働き 6食品衛生活動のしくみと働き 7食品と環境の保健と私たち	イ　環境と食品の保健 ・学校や地域の環境を健康に適したものにするため基準が設定され、環境衛生活動が行われていることや食品の安全性を確保するための基準が設定され、食品衛生活動が行われていることについて理解できるようにします。
3	8働くことと健康 9労働災害・職業病と健康 10健康的な職業生活	ウ　労働と健康 ・職業病や労働災害の防止については、作業形態や作業環境の変化を踏まえた健康管理及び安全管理を行うことが必要であることについて理解できるようにします。

成績評価	出席状況や授業の取り組み状況（生徒個々の保健学習に対する関心・意欲・態度や知識・理解など)の他、課題やノートの整理、定期考査などで総合的に評価します。
使用教材・副教材	教科書　　現代保健体育（大修館書店） 副教科書　現代保健ﾉｰﾄ（大修館書店）
備考	

シラバス　芸術科

学科 全学科	学年 １学年	科目［単位数］ 音楽Ⅰ［２］	

目標など
　音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

学期	単　元　名	学　習　内　容
1	・校歌 ・青春と音楽 ・音楽理論 ・現代社会と音楽 ・民族と音楽	・校歌を歌詞を見ないで音程正しく歌唱する。 ・音部記号・音の高さの変化・小節線・音名・調号・音符・休符・拍子・調・短調・曲の形式を理解する。 ・興味ある音楽分野について調べ、他の生徒に紹介し、様々な音楽に親しむ。
2	・我が国の音楽 ・西洋音楽史 ・人間と音楽 ・リズム練習 ・器楽アンサンブルの楽しみ	・三味線をはじめとするいろいろな楽器の奏法を知ったり、有名な曲を鑑賞して日本音楽を理解する。 ・年代順に特徴を掴みながら、有名な作曲家の曲を通して西洋音楽を学ぶ。 ・ヒンデミットの両手リズム打ち等、リズム力を養う。 ・リコーダーの基本的な奏法を学ぶ。 ・小グループで自主的に練習することを通してアンサンブルの楽しさを味わう。
3	・合唱の美しい響き ・式　　歌	・自由に選曲して表現豊かに合唱する。 ・卒業式歌を暗譜する。 「君が代」 「校歌」 「螢の光」

成績評価	ペーパーテストや技能のほかに、授業に対する意欲関心態度などを総合的に判断し評価する。
教科書 使用教材・副教材	教科書　改訂新版　高校生の音楽１

シラバス 芸術科

学科	学年	科目[単位数]	
全学科	１学年	美術Ⅰ［２］	

目標など
美術が人間生活に果たす役割を知り自己を見つめ国際理解や協調の精神を養う。

学期	単元名	学習内容
1	鉛筆デッサン 「かたちをとらえる」	・幾何形体を鉛筆と消しゴムでデッサンをする。
	静物画	・複数のモチーフを油絵具を使い写生する。
	作品鑑賞会	・他の生徒の作品を鑑賞する。
2	デザイン　「メッセージの伝達」	・清涼飲料水のパッケージをデザインし、プレゼンテーションを行う。
	自画像	・ゴッホやピカソなどの自画像を鑑賞する ・自画像デッサンを行う。 ・自画像を油彩で制作する。
	作品鑑賞会	・他の生徒の作品を鑑賞する。
	鑑賞「映像の展開」 「日本美術史」	・映像作品を鑑賞し、作品の背景や作者の心情を探る。 ・映像技術を学習する。 ・日本の代表的な作品を鑑賞し、時代背景や様式などを学習する。
3	立体「本物のようなにせもの」	・高村光太郎など有名作家の作品を鑑賞する。 ・スケッチを行う。 ・粘土による表現を行う。 ・製品に着彩する。
	作品鑑賞会	・他の生徒の作品を鑑賞する。
	鑑賞「現代美術史」	・世界で活躍している作家をとりあげ、作品を鑑賞する。

成績評価	出席状況、作品、授業態度などにより評価する。
教科書 使用教材・副教材	・教科書　美術Ⅰ（光村）、油絵具、など

シラバス 芸術科

学科	学年	科目[単位数]	
全学科	１学年	書道Ⅰ［２］	

目標など
　書道を通じて幅広い人間性を養い、芸術に親しむ心を育む。落ち着きある態度で授業に臨み、人格の形成を図る。

学期	単元名	学習内容
1	オリエンテーション	・書写と書道の関係について学習する。 ・書のジャンルについて学習する。 ・表現と鑑賞について学習する。 ・書道用語について理解する。
	生活の中の書	・硬筆の基本練習を行う。
	漢字の書 ・書体の移り変わり	・楷書の鑑賞と臨書を行う。 基本用筆の練習 九成宮醴泉銘の練習
2	漢字の書 ・楷書の古典を学ぼう	・楷書の鑑賞と臨書を行う。 孔子廟堂碑 牛けつ造像記 ・楷書の創作を行う。
	篆刻	・落款印を制作する。
	漢字の書 ・行書の古典を学ぼう ・創作しよう	・行書の鑑賞と、臨書を行う。 蘭亭序基本用筆の練習
3	仮名の書 ・仮名の成立 ・仮名の基本を学ぼう ・仮名の古典を学ぼう ・創作しよう ・仮名の美を学ぼう	・仮名の基本用筆について学習する。 ・仮名の単体について学習する。 ・連綿について学習する。 ・高野切第三種の鑑賞と臨書を行う。
	漢字仮名交じりの書 ・漢字仮名交じりの書の表現 ・創作しよう	・自分のイメージを表現する。 ・漢字と仮名を調和させて、表現する。
	創作	・一年の総まとめとして、学んだことを生かし、自由に表現する。

成績評価	授業に対する意欲関心態度と作品の採点を総合して成績を評価する。
教科書 使用教材・副教材	教科書　「高校書Ⅰ」光村図書出版

シラバス

学科　機械・電子機械 電気情報	学年　１学年	科目[単位数] オーラルコミュニケーションⅠ[２単位]	

目標など
　日常生活や学校生活に即した場面設定により、実践的なコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を育てることを目標とする。

学期	項目	学習内容
1	Classroom English	教室英語の表現を学ぶ
	1.Meeting People	あいさつや自己紹介をする
	2.School Subjects	学校の科目や時間割を説明する
	3.Telling the Way	道順を尋ねる・説明する
	4.After School	放課後の予定を話し合う
	5.How Do You Get to School?	通学方法を説明する
	6.In a Restaurant	レストランで注文の表現を学ぶ
	7.What Did You Watch?	見たテレビ番組の印象を話す
2	8.On the Telephone	電話で友達を誘う
	9.Who Is It?	人物の特徴を説明する
	10.What's the Weather Like?	各地の天候を表現する
	11.School Events	学校行事の感想を話し合う
	12.Guess What It Is	物の形や色を説明する
	13.What's Special about Today?	日本の祝日や行事を説明する
	14.How Do You Do It?	物の使い方を説明する
3	15.How Do You Feel?	体の部位と体調を表現する
	16.Let's Go Shopping	買い物に役立つ表現を学ぶ
	17.Where Shall We Go?	旅行の計画を提案し説明する
	18.Going Abroad	海外旅行に役立つ表現を学ぶ
成績評価		出席状況、授業態度(ペアワークやグループワークへの参加状況や態度）、提出物、定期考査、小テスト
使用教材・副教材		教科書　On Air Communication Ⅰ(開拓社) 副教材　On Air Communication Ⅰ Workbook (開拓社) Joyful Watching （浜島書店）
備考		

シラバス

学科 機械科　電子機械科 電気情報科	学年 ３学年	科目［単位数］ 家庭基礎［２］	

目標
人の一生と家族・福祉、消費生活、衣食住、家庭生活と技術革新などに関する知識と技術を体験的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付けさせる。

学期	単元名	学習内容
1	**「 衣生活を営む 」**	
	1　人が被服を着る理由	1　心豊かで充実した衣生活を営むために必要な基礎的・基本的な知識（なぜ人は被服を着るようになったのか・被服の機能と着装 ）について理解する
	2　衣服材料の種類と性能	2　被服材料の種類・被服材料の性能・繊維製品の加工について理解する。
	3　衣生活の計画	3　被服計画，被服の選択・購入・活用について理解する
	4　気持ちよく着るために	4　被服の管理・洗濯・仕上げ・保管方法を理解して，その充実向上に必要な基礎的・基本的な知識や技術を身につける。
	5　自分らしく衣生活を楽しむために	5　自分らしさを表現する被服・自分らしさと流行・安全に着ることについて考察する
	6　多様化する衣生活	6　国際化，情報化と衣生活・新繊維の開発・衣生活と資源・環境について理解する
	＊まとめ	
	「 資源をいかす 」	
	1　よりよい生活をつくる資源と意思決定	1　あなたのもつ資源と意思決定の重要性・消費行動における意思決定・情報化社会における消費者の役割を理解する
	2　複雑化，多様化する消費生活の現状と課題	2　現代の消費生活の特徴・消費者問題の現状と課題を理解する
	3　契約・消費者信用の意味と実態	3　契約の意味と悪質商法・契約上のトラブルから消費者を救済する法律と制度・消費者信用の利用について理解する
	4　消費者政策と消費者の権利と責任	4　わが国の消費者政策・消費者の権利と責任ある行動について理解する
	5　家計の現状と社会とのかかわり	5　家計を取り巻く現状・家計と経済のかかわりについて理解する
	6　将来を考えた経済計画と家計管理	6　経済計画の重要性・将来を考えた家計管理を理解する
	7　環境に調和した生活の実践	7　私たちの消費生活と環境問題を理解して，グリーンコンシューマーの実践を心がける
	8　持続可能な社会をめざして	8　循環型社会構築のための取り組み・持続可能な社会の形成について理解し，その実践をめざす
	＊まとめ	
2	**「 食生活を営む 」**	
	1　「食べる」ということ	1　あなたの食生活を振り返る・なぜ，食べるのか・体に必要な食品と栄養素について理解する
	2　炭水化物とそれを多く含む食品	2　炭水化物の働き・炭水化物を多く含む食品について理解する
	3　脂質とそれを多く含む食品	3　脂質の働き・脂質を多く含む食品について理解する
	4　たんぱく質とそれを多く含む食品	4　たんぱく質の働き・たんぱく質を多く含む食品について理解する
	5　無機質とそれを多く含む食品	5　無機質の働き・無機質を多く含む食品について理解する
	6　ビタミンとそれを多く含む食品	6　ビタミンの働き・ビタミンを多く含む食品について理解する
	7　食品の選択と取り扱い	7　食品の選択と購入・食品の保存・管理・環境に配慮した食品の利用について理解する
	8　食品の衛生と安全	8　食品の衛生と安全を保つ・食中毒・食品添加物について理解する
	9　生活に必要な栄養と食事の量の関係	9　栄養素はどれだけ必要か，食事摂取基準・食品群別摂取量・栄養価計算を理解する。
	１０　家族の食事計画	１０　家族の食事計画に必要な条件・家族の特徴を考えた献立作成のポイントについて理解する
	１１　調理の目的と方法	１１　調理の目的と方法・調理の要点・食事様式とマナーについて理解する
	１２　豊かな食生活を求めて	１２　日本の食料自給率と安全性・私たちの食生活と環境の保全・フードファディズム・食べることの楽しさを知る教育について理解する
	＊調理実習 実習例１　日本食の調理 実習例２　魚の切り身をいかす 実習例３　炒めものをつくる 実習例４　調理器具をいかす 実習例５　デザートをつくる	＊　主な食品の特質や調理法などに関心を持ち、調理実習・実験に取り組む。 調理実習１「和食の献立」・調理実習２「洋食の献立」・ 調理実習３ 「中華の献立」・ 調理実習４「和洋の献立」・調理実習５「洋食の献立」
	＊まとめ	＊　雑煮比べ・食生活をめぐる問題について考える

	「　住生活を営む　」		
	1　住居の成り立ちと現代の住生活	1	住居の役割・気候風土と住生活・現代の住生活について理解する
	2　住む人の生活に合った住空間	2	ライフスタイルと住空間・生活行為と住空間・ライフステージと住空間について理解する
	3　健康で快適な住居と住まいかた	3	健康で快適な住居・住居のここちよさ・換気・静かさについて理解する
	4　住生活の安全と管理	4	安全な住まい・衛生的な住まい・住まいの維持と管理に関する基礎的・基本的な知識を身につける。
	5　居住水準の向上と地域社会	5	住居水準の向上をめざす・住環境と地域社会について理解する
	6　共生の住居づくり・まちづくり	6	環境に調和した住まいかた・だれもが暮らしやすい住居づくり・まちづくりについて理解する
	＊まとめ	＊	住居を借りる際に知っておきたいこと・住居広告の読み方・あなたの住みたい地域の物件について調べる
	「　子どもを育てる　」		
	1　乳児期の豊かな成長・発達	1	子どもの成長・発達と区分・乳児期の成長・発達の特徴（体の成長，発達，知的能力，感情の発達）について理解する
	2　幼児期の豊かな成長・発達	2	体の成長・発達・知的能力・情緒・社会性の発達について理解する
	3　子どもの生活と保育	3	子どもの成長・発達と生活・生活習慣の形成と保育について理解する
	4　子どもの遊び	4	遊びと発達・遊びと習いごとについて理解する
	5　子どもの健康と安全	5	子どもの病気・事故について理解する
	6　親になること	6	親になることと子育て・親になること・障害のある子どもと親のかかわりについて理解する
	7　家庭保育・集団保育と子育て支援	7	家庭保育と集団保育・子育ての支援について理解する
	8　子どもの権利と福祉	8	世界の子ども・現代の子どもが育つ環境の変化・子どもの権利と福祉・これからの子育てを理解する。
	＊まとめ	＊	子どもと遊び，その交流体験を終えての感想・反省・今後にむけて考えたことをまとめる
3	「　高齢者と生きる　」		
	1　高齢期と加齢にともなう心身の変化	1	人の一生と高齢期・心身の変化の特徴と生活について理解する
	2　高齢期の生活と課題	2	高齢期の生活と人間関係・生活自立・経済生活と課題について理解する
	3　高齢期の豊かな過ごしかた	3	高齢期の健康管理・社会参加・私たちと高齢者について理解する
	4　人口の高齢化と高齢者福祉	4	人口の高齢化と日本・高齢者福祉を考察して理解する
	5　介護の必要な高齢者への支援	5	介護保険と福祉サービス・高齢者福祉を支える人々と制度について理解する
	6　充実した高齢期を送るために	6	高齢者福祉の財政問題・地域環境の整備・充実した高齢期を迎えることについて理解する
	＊まとめ		
	「　人生をみつめる　」		
	1　今あるあなたと自己実現	1	これまでの自己を振り返り，これからの自分がめざす自己実現を考察する
	2　青年期にいるあなたの課題	2	ライフステージと発達課題・青年期に確立したい自立について理解する
	3　さまざまな家族	3	あなたにとっての家族・さまざまな家族・家族の成長，発達と最近の家族の様子について理解する
	4　家族の人間関係とバランスのとれた生活	4	家族の人間関係・家庭の役割・家庭生活と職業生活の設計について理解する
	5　家族に関する法律	5	家族に関する法律・婚姻・夫婦・親子・離婚・扶養・相続に関する法律を理解する
	6　男女共同参画社会の実現をめざして	6	男女共同参画社会と家庭とその創造・出産・子育てと社会について理解する
	7　ともに支え合う社会の創造	7	だれにとっても生活しやすい家庭と社会・家庭生活と社会保障制度・ともに支え合う地域社会の形成と家族，家庭について理解する
	＊まとめ		
	「　生活をつくる　」		
	1　自分らしい生きかたの選択と生活設計	1	自分らしい生きかたとライフスタイル・ライフコースの選択と生活設計について考察して，より具体的に表現することで，その理解をはかる
	2　ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	2	生活を見直して，ホームプロジェクトの実践・学校家庭クラブ活動について理解する

成績評価	・出席状況，レポート，作品の提出，実習の取り組み状況や定期考査などにより判断する。
使用教材・副教材	教科書　　明日を拓く　高校　家庭基礎（大修館書店） 副教科書　２００８　生活ハンドブック　資料&成分表（第一学習社）
備　　考	

シラバス

学科　機械科	学年　　１年	授業内容 ※　４班編成(10人/班)で実習を行います。 前期 １文鎮の製作とメッキ処理　２ネームプレートの製作　３旋盤Ⅰ　４メカ工作 後期 １ロボットカーの製作　２旋盤Ⅱ　３NCフライス盤　４シーケンスⅠ 前後期、以上の項目を３週ごとにローテーションします。
科目[単位数] 工業技術基礎［３単位］		
目標 工業に関する基礎的技術を実験･実習によって体験させ、各分野における技術への興味･関心を高め、工業の意義や役割を理解させるとともに工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。		

学期	項目	学習内容
1	文鎮の製作とメッキ処理	真鍮の材料を旋盤という機械を使って加工し、文鎮を製作します。また、その作品を磨きメッキ処理を施します。
	旋盤Ⅰ	測定の基礎や旋盤操作について学習し、切削加工に取り組みます。
	ネームプレートの製作	自分でネームプレートをデザインし、発砲スチロールで型を作り、アルミニウムを流し込み作品を制作します。
2	メカ工作	相撲ロボット・キットを製作し、歯車減速機構やモータについて学習します。
	ロボットカーの製作	オリジナルロボットの製作を通し、ケガキ作業、穴あけ、折り曲げ、ハンダ付けなどに取り組みます。
	旋盤Ⅱ	旋盤操作についての技能を高め、規定寸法の製品加工に取り組みます。
3	NCフライス盤	NCフライス盤の構造を学習し、基本的なNCプログラムを作成します。
	シーケンスⅠ	プログラマブルコントローラーを用いた制御実習に取り組みます。

成績評価	実習担当者で協議し、作品、実習態度・意欲、レポート等により成績を決定します。
使用教材・副教材	実習テキスト
備考	

シラバス

学科　電子機械科	学年　　１年	授業内容 ※　４班編成(10人/班)で実習を行います。 前期 １文鎮の製作とメッキ処理　２溶接Ｉ　３ネームプレートの製作　４メカ工作 後期 １ロボットカーの製作　２情報処理Ｉ　３旋盤Ｉ　４シーケンスＩ 前後期、以上の項目を３週ごとにローテーションします。
科目[単位数] 工業技術基礎［３単位］		
目標 工業に関する基礎的技術を実験･実習によって体験させ、各分野における技術への興味･関心を高め、工業の意義や役割を理解させるとともに工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。		

学期	項目	学習内容
1	文鎮の製作とメッキ処理	真鍮の材料を旋盤という機械を使って加工し、文鎮を製作します。また、その作品を磨きメッキ処理を施します。
	溶接Ｉ	アーク溶接とガス溶接の技術の習得に取り組みます。
	ネームプレートの製作	自分でネームプレートをデザインし、発砲スチロールで型を作り、アルミニウムを流し込み作品を制作します。
2	メカ工作	相撲ロボット・キットを製作し、歯車減速機構やモータについて学習します。
	ロボットカーの製作	オリジナルロボットの製作を通し、ケガキ作業、穴あけ、折り曲げ、ハンダ付けなどに取り組みます。
	情報処理Ｉ	Ｃ言語の基礎を学習し、簡単なプログラムに取り組みます。
3	旋盤Ｉ	測定の基礎や旋盤操作について学習し、切削加工に取り組みます。
	シーケンスＩ	プログラマブルコントローラーを用いた制御実習に取り組みます。
成績評価		実習担当者で協議し、作品、実習態度・意欲、レポート等により成績を決定します。
使用教材・副教材		実習テキスト
備考		

シラバス

学科	学年
電気情報科	1

科目［単位数］
工業技術基礎　［３単位］

目標
工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させ、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意図的な態度を育てる。

授業内容
(1)オリエンテーション
(2)基本工具の取り扱い
(3)各種測定器の取り扱い
(4)直流回路
(5)プレゼンテーション
(6)テスターの製作と取り扱い
(7)パソコン組立とセットアップ
(8)論理回路
(9)製作実習
(10)CAD
以上の項目を８班編成で実施する。

学期	項目	学習内容
1	オリエンテーション	1　実習の心構えや安全に対する意識を高めさせ、年間の実習項目や評価方法を説明する。 2　各実習施設の案内・説明および　機器類の説明を行う。 3　報告書(レポート)の書き方、グラフの描き方を説明し、実習終了からレポート提出までの流れを理解させる。
	基本工具の取り扱い	1　ノギスの取り扱い方を説明し、実際に測定させる。 2　ダイスの取り扱い方を説明し、実際に加工させる。 3　タップの取り扱い方を説明し、実際に加工させる。
	各種測定器の取り扱い	1　テスター何ができるのか、機能の説明を行う。 2　テスターの正しい取り扱い方を説明する。 3　抵抗器のカラーコードの読み方および計算を理解させる。 4　接頭語の意味と種類を説明し、換算させる。 5　目盛りの正しい読み方を体得させ、有効数字の取り扱いを理解させる。 6　抵抗・直流電流・直流電圧・交流電圧を測定させる。 7　電流計・電圧計で測定を行う。 8　オシロスコープを使って正弦は交流と方形波の波形測定させる。
	直流回路	1　オームの法則に関する理論の説明をする。 2　電流計及び電圧計の接続方法を理解させる。 3　電圧及び電流の測定を行う。 4　電流及び抵抗の測定を行う。 5　電位降下法による抵抗値の求め方を理解させ、実際に測定を行う。 6　ブリッジ回路による抵抗値の求め方を理解させ、実際に測定を行う。 7　回路計による抵抗値の求め方を理解させ、実際に測定を行う。
	プレゼンテーション	1　総合実習室利用のルールを説明する。 2　Windowsアプリケーションの起動や終了など基本操作を理解させる。 3　プレゼンテーションの役割と効果について理解させる。 4　Power Pointを使ってスライドのデザインを行う。 5　スライドショーの実行方法を理解させ、実際に実行してみる。 6　ファイルの管理と取り扱い方法を理解させる。
2・3	テスターの製作と取り扱い	1　テスターの基本原理である分流回路・分圧回路・整流回路について説明し理解させる。 2　ハンダ付けの良い例と悪い例を説明し、正しいハンダ付けの手順を習得させる。 3　テスターを製作する。 4　完成したテスターが正しく動作するかチェックする。 5　製作したテスターを使って抵抗値・電圧・電流の測定を行う。
	パソコンの組み立てとセットアップ	1　パソコンの機能と構成を理解させる。 2　各構成部品の働きと接続方法を理解させる。 3　パソコンを組み立てる。 4　OSとは何かを理解させる。 5　組み立てたパソコンにOSをインストールする。
	論理回路	1　論理回路の働きを理解させる。 2　ICの取り扱い方やピン番号の読み方を理解させる。 3　ブレッドボードの使い方や配線方法を理解させる。 4　基本回路(AND、OR、NOT、NAND、NOR、EX-OR)の動作を確認する。 5　複合回路の配線を行い、入出力実験を行う。
	製作実習	1　工作で使用する電子部品の働きと取り扱い方を理解する。 2　木材の加工（木工）を行う。 3　プリントパターンの作成を行う。 4　プリント基板の加工と部品のハンダ付けを行う。 5　組立と動作確認を行う。
	CAD	1　CADの特徴と用途を理解させる。 2　CANDY8の起動と操作方法を習得させる。 3　自宅案内図の作図を通して基本的なコマンドの使い方を習得させる。 4　締め付け金具の作図を通してレイヤーの概念や応用的なコマンドを習得させる。
成績評価		日々の学習活動の観察、実習報告書の内容と提出状況、完成作品、自己評価を通して評価する。
使用教材・副教材		教科書　工業技術基礎（実教出版）、自作テキスト
備　考		

シラバス

学科	学年	授業内容
機械科	１年	
科目［単位数］ 課題研究［１］		前期：資格取得 計算技術検定３級 後期：資格取得 情報技術検定３級 危険物取扱者試験丙種
目標 ・計算技術検定３級、情報技術検定３級に合格する。 ・丙種危険物取扱者試験受験のための準備学習をする。 ・問題解決能力や計画的で自発的な学習態度を身に付ける。		

学期	項目	学習内容
1	オリエンテーション	・検定試験の概要 ・受検の心構え ・学習の進め方
	計算技術検定	・四則計算 ・関数計算 ・実務計算 ・過去問題演習
	情報技術検定	・数の表し方 ・論理回路とコンピュータの基本回路 ・コンピュータの役割および構成と基本動作
2	情報技術検定	・ソフトウェア ・コンピュータ制御 ・ネットワークとマルチメディア・流れ図 ・ＢＡＳＩＣ ・過去問題演習
3	オリエンテーション	・試験の概要 ・受験の方法 ・学習の進め方
	危険物取扱者試験	・燃焼、消火に関する基礎知識 ・危険物の性質、並びにその火災予防および消火の方法
成績評価		検定試験の得点、演習問題の得点、課題提出、授業中の態度等の状況を総合して成績を評価する。
使用教材・副教材		関数電卓取扱説明書と練習問題集（カシオ）、情報技術検定問題集（実教出版）、丙種危険物取扱者受験教科書（向学院）
備考		

シラバス

学科	学年	授業内容
電子機械科	１年	
科目［単位数］ 課題研究［１］		前期：資格取得 計算技術検定３級 後期：資格取得 情報技術検定３級 危険物取扱者試験丙種
目標 ・計算技術検定３級、情報技術検定３級に合格する。 ・丙種危険物取扱者試験受験のための準備学習をする。 ・問題解決能力や計画的で自発的な学習態度を身に付ける。		

学期	項目	学習内容
1	オリエンテーション	・検定試験の概要 ・受検の心構え ・学習の進め方
	計算技術検定	・四則計算 ・関数計算 ・実務計算 ・過去問題演習
	情報技術検定	・数の表し方 ・論理回路とコンピュータの基本回路 ・コンピュータの役割および構成と基本動作
2	情報技術検定	・ソフトウェア ・コンピュータ制御 ・ネットワークとマルチメディア・流れ図 ・ＢＡＳＩＣ ・過去問題演習
3	オリエンテーション	・試験の概要 ・受験の方法 ・学習の進め方
	危険物取扱者試験	・燃焼、消火に関する基礎知識 ・危険物の性質、並びにその火災予防および消火の方法
成績評価		検定試験の得点、演習問題の得点、課題提出、授業中の態度等の状況を総合して成績を評価する。
使用教材・副教材		関数電卓取扱説明書と練習問題集（カシオ）、情報技術検定問題集（実教出版）、丙種危険物取扱者受験教科書（向学院）
備考		

シラバス

学科	学年
電気情報科	１学年

科目[単位数]
課題研究[2単位]

目標
各自で目標を設定し、工業に関する基礎的な技術を習得し工業技術への関心を高め、検定合格や資格取得に積極的に取り組ませるなかで、各自の適正を見いだし、無理なく専門の学習に進めるようにする。

授業内容
［１］ オリエンテーション
［２］ 工業数理　（習熟度別に４班に編制）
［３］ 検定講習（習熟度別に４班に編制）
［４］ 実習１　（４班編成でローテーション）
(1) 電気工事１
(2) プログラミング
［５］ 実習２　（４班編成でローテーション）
(1) 電気工事２
(2) ワープロ
(3) 表計算

学期	項目	学習内容
1	オリエンテーション	課題研究の心構えおよび実施項目、評価方法の説明を行う。
	工業数理	単位の換算や平方根・三角関数など工業高校で専門科目を学習するために必要な数学を学ぶ。
	検定講習	計算技術検定３級の受検に向けて、四則、関数、実務の３分野ごとにポケコンを用いて計算する手法について学習する。
2	電気工事１	第２種電気工事士試験の実技試験を想定した屋内配線の実習を行う。
	プログラミング	情報技術検定３級の受検を想定したＣ言語のプログラミング演習を行う。
3	電気工事２	第２種電気工事士試験の筆記試験を想定した学習を行う。
	ワープロ	Ｗｏｒｄを使って、文章入力や書式、作表などワープロ検定３級程度の文書作成の実習を行う。
	表計算	Ｅｘｃｅｌを使って、データ入力、関数計算、絶対番地・相対番地、グラフ作成など表計算検定３級程度の表計算実習を行う。

成績評価	各観点・研究発表・完成作品及び報告書内容を総合的に考慮し成績評価とする。
使用教材・副教材	共通なものは使用しないが、各生徒のテーマに合わせた教材を用いる。
備考	

シラバス

学科　機械科	学年　２年	授業内容
科目[単位数]　課題研究（1単位）		前期：資格取得 危険物取扱者試験丙種 後期：資格取得 危険物取扱者試験乙種４類 機械製図検定
目標 ・危険物取扱者試験丙種に合格する。 ・危険物取扱者試験乙種4類に合格する。 ・機械製図検定受検のための準備学習をする。 ・問題解決能力や計画的で自発的な学習態度を身に付ける。		

学期	項目	学習内容
1	オリエンテーション	・検定試験の概要 ・受検の心構え ・学習の進め方
	危険物取扱者試験丙種	１．燃焼及び消火に関する基礎知識 ２．危険物の性質、並びにその予防及び消火の方法 ３．危険物に関する法令
2	危険物取扱者試験乙種４	１．物理学と化学の基礎知識 ２．危険物の性質、並びにその予防及び消火の方法 ３．危険物に関する法令
3	機械製図検定	１．投影図について ２．立体的な図示方法について
成績評価		学習活動の状況、課題提出状況、定期考査などを通して総合的に評価する。
使用教材・副教材		丙種危険物取扱者受験教科書（向学院）、危険物取扱者試験例題集丙種（全国危険物安全協会） 乙４類危険物取扱者受験教科書（向学院）、危険物取扱者試験例題集乙種第４類（全国危険物安全協会）、プリント
備考		

シラバス

学科　電子機械科	学年　　２年	授業内容 生徒一人ひとりの自発的、創造的な学習態度や問題解決能力を養うため、自らテーマを設定し、計画的に活動を行い、問題を解決していく姿勢を身につけさせる。 また、資格取得に対して積極的な取り組みを行い、学習意欲を育てる。
科目[単位数]　課題研究（1単位）		
目標 資格試験や検定試験への積極的な取り組みの中から「やればできる自分」を発見し、日常の学習にも積極的に取り組もうとする意欲や向上心を身につける。		

学期	項目	学習内容
1	資格取得	丙種危険物取扱者試験に向けての学習 １．燃焼及び消火に関する基礎知識 ２．危険物の性質、並びにその予防及び消火の方法 ３．危険物に関する法令
2	資格取得	乙４類危険物取扱者試験に向けての学習 １．物理学と化学の基礎知識 ２．危険物の性質、並びにその予防及び消火の方法 ３．危険物に関する法令
3	資格取得	機械製図検定に向けての学習 １．投影図について ２．立体的な図示方法について ３．機械要素について
成績評価		日々の学習活動の観察、課題提出状況、定期考査などを通して総合的に評価する。
使用教材・副教材		丙種危険物取扱者受験教科書（向学院）、危険物取扱者試験例題集丙種（全国危険物安全協会） 乙４類危険物取扱者受験教科書（向学院）、危険物取扱者試験例題集乙種第４類（全国危険物安全協会）
備考		

シラバス

学科　機械科	学年　　3年	授業内容 前期：資格取得 （機械製図検定に向けての学習） 後期：課題研究 課題研究のテーマを設定し，各班ごとに製作する。 メカトロコース：ロボット製作等を行う。（後期）
科目[単位数]　　課題研究[２]		
目標 工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。		

学期	項目	学習内容
1	資格取得	機械製図検定に向けての学習 1　立体図から投影図 2　投影図から立体図 3　断面図 4　寸法記入法 5　はめあい,各種記号 6　機械部品の図示方法 7　製作図
2	課題研究	・課題研究テーマの設定 ・課題研究テーマの具現化に向けての取り組みを行う。 ・アイデアを図面化する。 ・設計図、製作図の作成 ・試作製作
3	課題研究 課題研究発表大会	・報告書の作成 ・課題研究発表
成績評価		資格取得,課題に取り組む姿勢、報告書、製作品、研究発表、出席状況を総合的に判断して評価する。
使用教材・副教材		自作テキスト他
備考		

シラバス

学科	学年	授業内容
電子機械科	3年	１．資格取得 機械製図検定にむけて取り組む ２．校内ロボット競技大会用ロボットの製作 (6班編成で各班ごとにロボットを製作する) 校内ロボット競技大会の内容・規則の設定 〃　用ロボットの設計・製作 ３．研究成果の発表 ４．校内ロボット競技大会
科目[単位数] 課題研究[2]		
目標 資格取得や校内ロボット競技大会用ロボットの製作を通して，課題を設定し，その課題の解決を図る学習を通して，専門的な知識と技術の深化，総合化を図るとともに，問題解決の能力や自発的，創造的な学習態度を育てる。		

学期	項目	学習内容
1	資格取得	機械製図検定に向けての学習 1.投影図 2.寸法記入法 3.公差・面の肌 4.機械要素の製図
2	校内ロボット競技大会用ロボットの製作	校内ロボット競技大会用ロボットの製作 1.競技内容の検討 2.ロボットの設計 3.ロボットの製作 4.競技台の製作
3	校内ロボット競技大会用ロボット製作及び発表と競技大会	校内ロボット競技大会用ロボット製作及び発表と競技大会 1.ロボットの製作 2.研究成果の発表 (プレゼンテーションの作成) 3.競技大会
成績評価		定期考査，レポートや課題等の提出状況および日々の学習活動の観察などを通して総合的に評価する。
使用教材・副教材		機械製図(実教)など
備考		

シラバス

学科 電気情報科（電気系）	学年 ３学年
科目[単位数] 課題研究[2単位]	
目標 座学で学んだ知識を活かし、工業に関する課題を自らが設定し、設計・製作を通じて専門的な知識と技術を身につけさせる。また、問題解決に取組む姿勢、学習意欲、創造性などを育成する。	

授業内容

課題研究では、班単位で自主的にテーマを設定し、調査・研究・製作・発表を行う。

事前調査

テーマ決定

発表（中間・最終）

報告書作成

学期	項目	学習内容
1	課題研究	事前調査 テーマ決定 調査・研究・製作
2	課題研究	事前調査 テーマ決定 調査・研究・製作
3	課題研究	調査・研究・製作 最終発表 報告書作成

成績評価	各観点・研究発表・完成作品及び報告書内容を総合的に考慮し成績評価とする。
使用教材・副教材	テーマに応じ、適宜選択
備考	

シラバス

学科 電気情報（情報系）	学年 ３学年
科目[単位数] 課題研究［２単位］	
目標 工業に関する基礎的・基本的な学習の上に立って、工業に関する課題を生徒自らが設定し、その課題を解決する学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、統合化を図るとともに問題解決に取り組む姿勢、学習意欲、創造性などを育成する。	

授業内容

課題研究においては、各自が自主的にテーマを設定し、調査・研究・製作・発表を行う。

事前調査

テーマ決定

調査・研究・製作

発表（中間、最終）

報告書作成

学期	項　目	学　習　内　容
1	課題研究	事前調査 テーマ決定 調査・研究・製作 中間発表
2	課題研究	調査・研究・製作 最終発表
3	課題研究	調査・研究・製作 報告書作成
成績評価		日々の学習活動の観察、実習報告書の内容、研究発表（中間・最終）、完成作品自己評価を通じて評価する。
使用教材・副教材		特になし
備考		

シラバス

学科	学年	科目[単位数]	
機械科	1	情報技術基礎 ［2単位］	

目標など
社会における情報化の進展と、情報の意義や役割を理解させるとともに、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、情報および情報手段を活用する能力と態度を育てる。

学期	項　目	学習内容
1	第1章 現代社会とコンピュータ	1 情報と生活 2 コンピュータの特徴 3 ハードウェアとソフトウェア 4 コンピュータの利用 5 コンピュータの基本構成 6 情報化社会の進展とモラル
	第2章 コンピュータの基本動作	1 基本的な操作 2 コンピュータの使用と健康
	第7章 ハードウェア	1 データの表し方 2 論理回路の基礎 3 処理装置の構成と動作 4 周辺装置
2	第3章 ソフトウェア	1 ソフトウェアの基礎 2 プログラム作成に必要なソフトウェア 3 アプリケーションソフトウェア
	第4章 BASICによるプログラミング （基礎）	1 プログラム言語 2 プログラムの作り方 3 簡単なプログラム 4 四則演算のプログラム 5 文字データの取り扱い 6 データの読み込み 7 分岐処理 8 繰り返し処理
3	第5章 BASICによるプログラミング （応用）	1 サブルーチン 2 配列処理 3 ファイル処理 4 グラフィック
	第8章 データ通信・マルチメディア・コンピュータ制御	1 データ通信とネットワーク 2 マルチメディアの活用 3 コンピュータ制御
	第9章 コンピュータの歴史と活用	1 コンピュータの発達 2 産業界におけるコンピュータの利用
成績評価		日々の学習活動の観察、コンピュータ実習へ取り組む姿勢と出力結果、自己の評価、ノート提出、小テスト、定期考査を通して評価する。
使用教材・副教材		教科書　情報技術基礎（実教出版）、 副教材　情報技術検定問題集3級BASIC（実教出版）
備考		

シラバス

学科	学年	科目[単位数]	
電子機械科	1	情報技術基礎　[２単位]	

目標など
　社会における情報化の進展と、情報の意義や役割を理解させるとともに、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、情報および情報手段を活用する能力と態度を育てる。

学期	項　目	学　習　内　容
1	第1章 現代社会とコンピュータ	1 情報と生活 2 コンピュータの特徴 3 ハードウェアとソフトウェア 4 コンピュータの利用 5 コンピュータの基本構成 6 情報化社会の進展とモラル
	第2章 コンピュータの基本動作	1 基本的な操作 2 コンピュータの使用と健康
	第7章 ハードウェア	1 データの表し方 2 論理回路の基礎 3 処理装置の構成と動作 4 周辺装置
2	第3章 ソフトウェア	1 ソフトウェアの基礎 2 プログラム作成に必要なソフトウェア 3 アプリケーションソフトウェア
	第4章 BASICによるプログラミング （基礎）	1 プログラム言語 2 プログラムの作り方 3 簡単なプログラム 4 四則演算のプログラム 5 文字データの取り扱い 6 データの読み込み 7 分岐処理 8 繰り返し処理
3	第5章 BASICによるプログラミング （応用）	1 サブルーチン 2 配列処理 3 ファイル処理 4 グラフィック
	第8章 データ通信・マルチメディア・コンピュータ制御	1 データ通信とネットワーク 2 マルチメディアの活用 3 コンピュータ制御
	第9章 コンピュータの歴史と活用	1 コンピュータの発達 2 産業界におけるコンピュータの利用
成　績　評　価		日々の学習活動の観察、コンピュータ実習へ取り組む姿勢と出力結果、自己の評価、ノート提出、小テスト、定期考査を通して評価する。
使用教材・副教材		教科書　情報技術基礎（実教出版）、 副教材　情報技術検定問題集3級BASIC（実教出版）
備考		

シラバス

学科	学年	科目[単位数]	
電気情報科	1	情報技術基礎　[２単位]	

目標など
　社会における情報化の進展と、情報の意義や役割を理解させるとともに、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、情報および情報手段を活用する能力と態度を育てる。

学期	項　目	学　習　内　容
1	第1章 現代社会とコンピュータ	1 情報と生活 2 コンピュータの特徴 3 ハードウェアとソフトウェア 4 コンピュータの利用 5 コンピュータの基本構成 6 情報化社会の進展とモラル
	第2章 コンピュータの基本動作	1 基本的な操作 2 コンピュータの使用と健康
	第7章 ハードウェア	1 データの表し方 2 論理回路の基礎 3 処理装置の構成と動作 4 周辺装置
2	第3章 ソフトウェア	1 ソフトウェアの基礎 2 プログラム作成に必要なソフトウェア 3 アプリケーションソフトウェア
	第4章 BASICによるプログラミング （基礎）	1 プログラム言語 2 プログラムの作り方
	第5章 BASICによるプログラミング （応用）	1 サブルーチン 2 配列処理 3 ファイル処理 4 グラフィック
3	第8章 データ通信・マルチメディア・コンピュータ制御	1 データ通信とネットワーク 2 マルチメディアの活用 3 コンピュータ制御
	第9章 コンピュータの歴史と活用	1 コンピュータの発達 2 産業界におけるコンピュータの利用
成　績　評　価		日々の学習活動の観察、コンピュータ実習へ取り組む姿勢と出力結果、自己の評価、ノート提出、参考プリントの取り組む姿勢と提出状況、小テスト、定期考査を通して評価する。
使用教材・副教材		教科書　情報技術基礎（実教出版）
備　　考		